

研究現場を体感してみませんか？

# Hands On

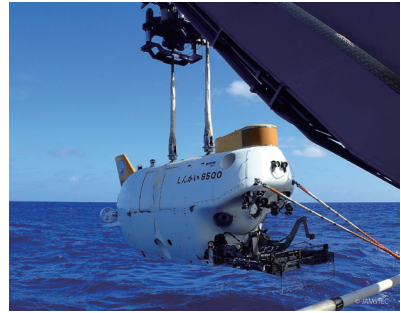
東京大学総合研究博物館 ハンズオン

東京大学総合研究博物館 マクロ先端研究発信グループ共同活動

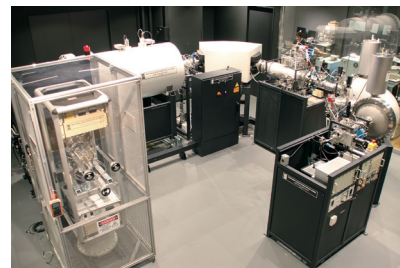
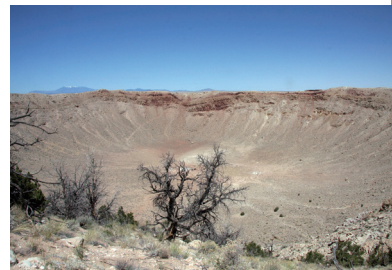
## 「研究現場にふれるハンズオン・ギャラリー」

2017/8/2水・3木

会場／東京大学総合研究博物館  
東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス内)



東京大学総合研究博物館では、見たり触れたりできる「マクロ」サイズの標本を用いた先端研究を世界に発信しています。そのため、生物・地質・考古など、多岐にわたる標本の収集と分析が、研究者により常に進められています。研究者による臨場感あふれる解説とともに、実際の標本を手にとって博物館の「研究現場」を体感してみませんか。



※詳細・参加要領は裏面をご覧ください。



# Hands On ハンズオン

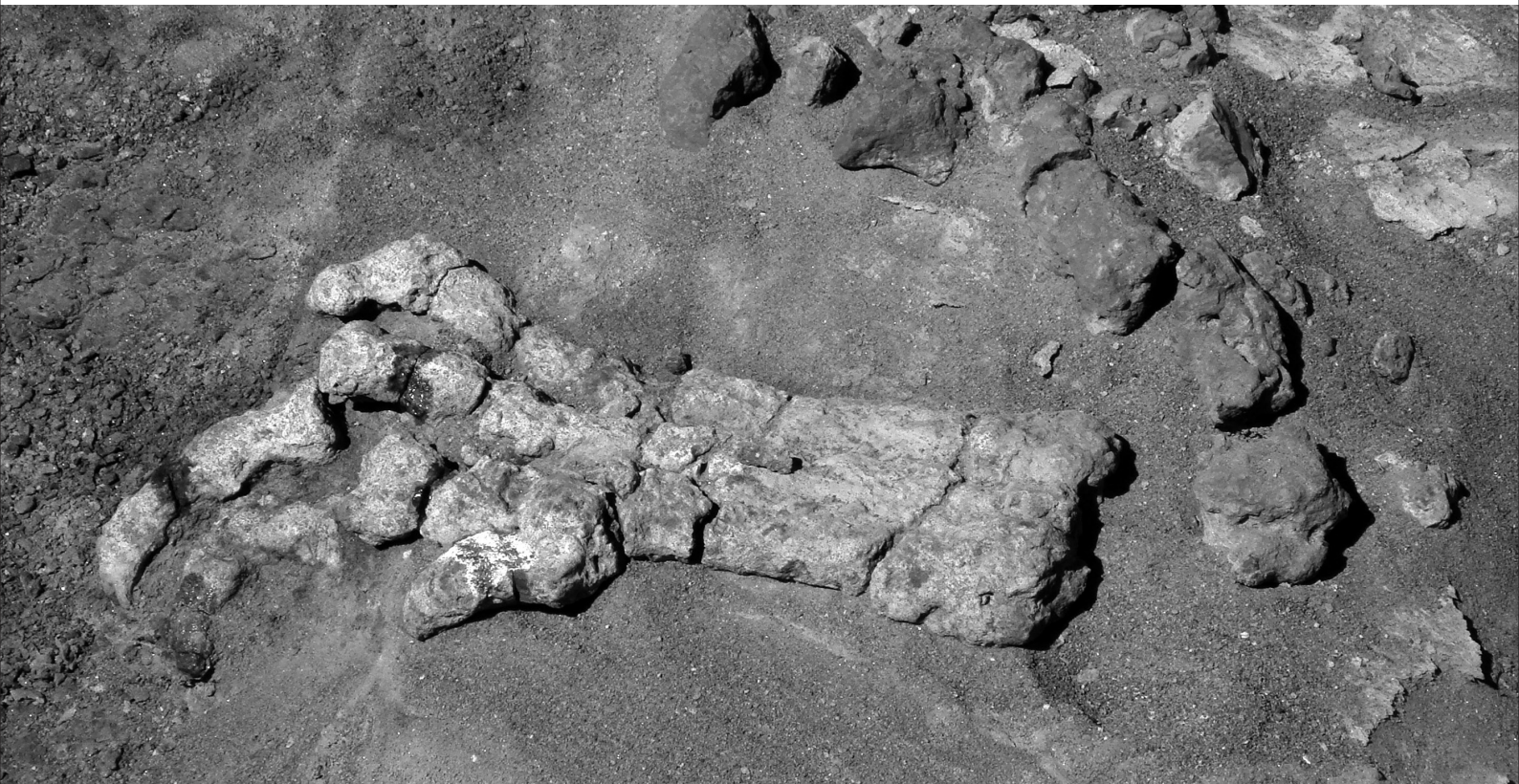
ハンズオン・ギャラリー

● 8月2日 (10:00—16:30 お昼休憩12:00—13:00)

- ギャラリー① 石器の破損から読み解く人類進化 (佐野勝宏 先史考古学)
- ギャラリー② 研究船を使った海洋調査の現場 (黒木真理 水圏生態学)
- ギャラリー③ ベトナム熱帯林で調べるコウモリの赤ちゃんの体と生活 (小藪大輔 比較形態学、進化発生学)
- ギャラリー④ 中生代爬虫類の発掘と記載 (久保泰 古生物学)
- ギャラリー⑤ 年代を測る加速器質量分析計の仕組み (尾崎大真 年代学)
- ギャラリー⑥ 西アジアで遺跡を掘る (小高敬寛 近東考古学)

● 8月3日 (10:00—16:30 お昼休憩12:00—13:00)

- ギャラリー① 隕石が記録している太陽系内での衝突現象 (新原隆史 隕石学、鉱物学)
- ギャラリー② 昆虫の多様性調査と保全活動の現場から (矢後勝也 昆虫自然史学、保全生物学)
- ギャラリー③ ベトナム熱帯林で調べるコウモリの赤ちゃんの体と生活 (小藪大輔 比較形態学、進化発生学)
- ギャラリー④ 中生代爬虫類の発掘と記載 (久保泰 古生物学)
- ギャラリー⑤ 年代を測る加速器質量分析計の仕組み (尾崎大真 年代学)
- ギャラリー⑥ 西アジアで遺跡を掘る (小高敬寛 近東考古学)



## ◆参加要領

事前申込み不要で、参加無料です。小学生以下は、保護者の同伴が必要となります。

<問い合わせ>

東京大学総合研究博物館事務室 TEL: 03-5841-2802 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp>

<会場>

東京大学総合研究博物館 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

